

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	アーツ サウンド ビジュアル専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	舞台音響照明学科	夜・通信	1380 時間	160 時間	
	ビジュアル・ムービー・クリエイター学科	夜・通信	1440 時間	160 時間	
	ライブ・イベントプランナー学科	夜・通信	1020 時間	160 時間	
(備考) 各学科ともに新課程以降初年度となるため、1年は新課程、2年は旧課程より計上している					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページによる公表 URL : http://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部の“シラバス等”内に記載)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	アーツ サウンド ビジュアル専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにより公表 URL： http://www.asvcoll-ac.jp/ （TOP ページ下部、“財務諸表等”の事業報告内に記載）

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会計事務所代表	3年	財務
非常勤	労務管理事務所代表	3年	労務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	アーツ サウンド ビジュアル専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画書(シラバス)の作成過程】 前年に実施された、授業評価アンケートをもとに講師と教務でシラバスと授業構築の見直しをして次年度の作成をする。</p> <p>【授業計画書の作成・公表時期】 講師と教務での見直し後、授業計画書(シラバス)の作成をする。公表時期は新年度始まり早い時期に学生に配布、ホームページ上での公表も同様。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページにより公表 URL：http://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部、“シラバス等”)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>【単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位計算方法は、講義および演習については15時間から20時間をもって1単位とする。実習および実技については30時間から45時間をもって1単位とする。 ・卒業までに履修させる単位は舞台音響照明学科は75単位以上、ビジュアル・ムービークリエイター学科は80単位以上、ライブ・イベントプランナー学科は84単位以上 ・各授業科目の成績評価は各学期末に行う試験、実習の成果、レポート内容、提出状況、受講態度などを総合的に勘案し、各授業科目を終了したものに所定の単位を与える。担当講師により、試験、レポート、学修成果を厳格に評価する。 ・履修認定に必要な単位取得、成績評価の方法には履修管理ソフトを使用して、予め設定した履修時間や成績(評価)が厳格かつ適正に管理し、単位授与又は履修認定を実施している。 	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>【客観的な指標の具体的な内容】</p> <p>学修の評価は、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し5段階の成績評価とし、C 評価以上を合格とする。</p> <p>S：特に優秀な成績・・・100～90点 A：すぐれた成績・・・89～80点 B：一応その科目の要求を満たす成績・・・79～70点 C：合格と認められる最低の成績・・・69～60点 F：不合格・・・59点以下</p> <p>履修管理ソフトを導入しており、上記によって出された各科目の成績、順位、平均点、評価が明確に管理されて指標の算出に役立っている。</p> <p>【客観的な指標の適切な実施状況】</p> <p>上記によって導き出された、学生個人の全ての試験科目の成績を合計し、個人の平均点を算出する。学科ごとに全学生の平均点を算出し指標分布を作成する。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	<p>ホームページにより公表</p> <p>URL：http://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部、“成績評価に関する…”)</p>
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<p>【卒業認定に関する方針の具体的な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学に2年以上在学し、各学科で定める授業科目を履修し、舞台音響照明学科は75単位以上、ビジュアル・ムービークリエイター学科は80単位以上、ライブ・イベントプランナー学科は84単位以上を修得したもの。 ・ 納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。 ・ 卒業認定会議にて附して卒業を認定する。 <p>卒業認定会議では、上記の卒業単位の履修と納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもののほかに、本校の校訓である「3Hの法則」に基づいて、Heart (まごころ)、Head (知識)、Hand (技能・所作) をバランス良く学び、総合力を身につけ、社会に貢献できる有用な人材になっているのかどうかも加味しながら、教員と校長とで卒業認定について話し合い、学生に「卒業認定通知」を出す。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<p>ホームページにより公表</p> <p>URL：http://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部、“成績評価に関する…”)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	アーツ サウンドビジュアル専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにより公表 URL : http://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部、“財務諸表等”)
収支計算書又は損益計算書	ホームページにより公表 URL : http://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部、“財務諸表等”)
財産目録	ホームページにより公表 URL : http://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部、“財務諸表等”)
事業報告書	ホームページにより公表 URL : http://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部、“財務諸表等”)
監事による監査報告（書）	ホームページにより公表 URL : http://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部、“財務諸表等”)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	舞台音響照明科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間／単位	540 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1170 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
	単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		21人	0人	3人	9人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 優れた専門性と豊かな創造性を教育の基本理念とし、文化・芸術・舞台・音響・照明・ビジュアル分野に必要な知識と技能を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、社会に貢献し得る人材の育成を目的とする。コンサートや舞台芸術、イベントでのハイパフォーマンスを音響や照明といった技術で支え、観客へと魅力的に表現するエンジニアを育成する。

成績評価の基準・方法
(概要) 各授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し、各授業科目を修了したものに所定の単位を与える。
卒業・進級の認定基準
(概要) 【進級】 舞台音響照明学科の学生は、卒業に必要な課目をすべて履修しなければならない。学修の評価は、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し5段階の成績評価とし、C評価以上を合格とする。 ・校長は、次の各号に該当する者について進級認定会議に附して進級を認定する。 ①1年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。 ②1年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。 【卒業】 ・ 本学に2年以上在学し、各学科で定める授業科目を履修し、舞台音響照明学科は75単位以上を修得したもの。 ・ 納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。
学修支援等
(概要) 【校内に学生用パソコンを設置】 学修や就職等に必要な情報等を自由に得たり、書類等の作成から印刷まですることができ。また、本校学生の就職先の業界では主流となるMacも学生が使用できるように設置しており、最新のソフトを自由に使用可能となっている。 【就職サポート】 担任制・個別指導、就職試験対策、インターンシップ等により学生一人一人の就職をサポートしています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	12人 (85.7%)	2人 (14.3%)
(主な就職、業界等) 音響照明会社・ブライダル演出会社・イベント制作会社・アーティストグッズ企画制作会社・ホール管理会社			
(就職指導内容) 本人の能力を考慮し、企業研究をさせた。 キャリアデザインから企業研究、エントリーシート作成、履歴書(志望動機)作成 SPI、グループディスカッション、グループ面接、個人面接などの指導 試験のタイミングに合わせた指導。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 舞台機構調整技能士3級、ビジネス能力検定3級、舞台テレビジョン照明技術者2級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中退者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生との対話時間を多くし、細やかな対応を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ビジュアル・ムービークリエイター 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間/単位	690 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1020 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	3人	0人	3人	8人	11人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 優れた専門性と豊かな創造性を教育の基本理念とし、文化・芸術・舞台・音響・照明・ビジュアル分野に必要な知識と技能を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、社会に貢献し得る人材の育成を目的とする。ロケーション撮影からPV・CG制作まで映像編集・音声処理の両面で活躍できるクリエイターを育成する学科です。
成績評価の基準・方法
(概要) 各授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し、各授業科目を修了したものに所定の単位を与える。
卒業・進級の認定基準
(概要) 【進級】 ビジュアル・ムービークリエイター学科の学生は、卒業に必要な課目をすべて履修しなければならない。学修の評価は、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し5段階の成績評価とし、C評価以上を合格とする。 ・校長は、次の各号に該当する者について進級認定会議に附して進級を認定する。 ①1年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。 ②1年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。 【卒業】 ・本学に2年以上在学し、各学科で定める授業科目を履修しビジュアル・ムービークリエイター学科は80単位以上を修得したもの。 ・納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。

学修支援等
<p>(概要)</p> <p>【校内に学生用パソコンを設置】学修や就職等に必要な情報等を自由に得たり、書類等の作成から印刷まですることが出来る。また、本校学生の就職先の業界では主流となるMacも学生が使用できるように設置しており、最新のソフトを自由に使用可能となっている。</p> <p>【就職サポート】</p> <p>担任制・個別指導、就職試験対策、インターンシップ等により学生一人一人の就職をサポートしています。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>ホテル事業_映像制作部署配属(ブライダル映像撮影・編集業務)・広告エディター(映像企画・撮影・編集業務)</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>本人の能力を考慮し、企業研究をさせた。 キャリアデザインから企業研究、エントリーシート作成、履歴書(志望動機)作成 SPI、グループディスカッション、グループ面接、個人面接などの指導 試験のタイミングに合わせた指導。</p>			
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>映像音響処理技術者資格、CGクリエイター検定ベーシック、マルチメディア検定ベーシック、舞台機構調整技能士3級、ビジネス能力検定3級</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>中途者なし</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学生との対話時間を多くし、細やかな対応を行う。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	文化・教養 専門課程	ライブ・イベントプランナー 学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間／単位	810 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	900 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	10人	0人	3人	9人	12人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>優れた専門性と豊かな創造性を教育の基本理念とし、文化・芸術・舞台・音響・照明・ビジュアル分野に必要な知識と技能を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、社会に貢献し得る人材の育成を目的とする。企画立案、マーケティング、会場制作・運営の知識や技術を幅広く身に着けたイベントプランナー、ライブ・コンサート運営スタッフを育成する学科です。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>各授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し、各授業科目を修了したものに所定の単位を与える。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>【進級】</p> <p>ライブ・イベントプランナー学科の学生は、卒業に必要な課目をすべて履修しなければならない。学修の評価は、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し5段階の成績評価とし、C 評価以上を合格とする。</p> <p>・校長は、次の各号に該当する者について進級認定会議に附して進級を認定する。</p> <p>① 1年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。</p> <p>② 1年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。</p> <p>【卒業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本学に2年以上在学し、各学科で定める授業科目を履修し、ライブ・イベントプランナー学科は84単位以上を修得したもの。 納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>【校内に学生用パソコンを設置】学修や就職等に必要な情報等を自由に得たり、書類等の作成から印刷まですることができる。また、本校学生の就職先の業界では主流となるMacも学生が使用できるように設置しており、最新のソフトを自由に使用可能となっている。</p> <p>【就職サポート】</p> <p>担任制・個別指導、就職試験対策、インターンシップ等により学生一人一人の就職をサポートしています。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 卒業生なし			
(就職指導内容) 卒業生なし			
(主な学修成果（資格・検定等）) 卒業生なし			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中退者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生との対話時間を多くし、細やかな対応を行う。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
舞台音響照明学科 ビジュアル・ムービー・クリエイター学科 ライブ・イベントプランナー学科	100,000円	600,000円	550,000円	実習・研修費 200,000円 教育充実費 50,000円 施設設備費 300,000円
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにより公表 (現在は H30 年度の情報、R 元年度の情報は 9～10 月頃にアップする予定) URL : https://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部の「学校情報」)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>【評価項目】</p> <p>1) 教育理念・目標 2) 学校運営 3) 教育活動 4) 学修成果 5) 学生支援 6) 教育環境 7) 学生の受け入れ募集 8) 財務 9) 法令等の遵守 10) 社会貢献・地域貢献</p> <p>【評価委員会の構成】 企業委員 3 名</p> <p>【評価の活用方法】 学校教育活動等の総合的な状況について、学校関係者評価委員が基準を満たしているかどうかの判断を中心とした評価を実施する。評価の結果を受け、学校運営や教育活動についての見直しや改善を行うことで実践的な職業教育を行い、業界で活躍できる人材の育成に努める。</p> <p>【学校関係者評価委員会の開催時期】 前年度の自己評価に対する評価を当年度の 8 月頃に委員会を開催</p> <p>【学校関係者評価結果の公表時期】 前年度に対する評価結果を通年当年度の 9～10 月頃にホームページに公表する</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人 日本音響家協会	H31 年 4 月 1 日～R3 年 3 月 31 日	企業等委員
新井博法律事務所	H30 年 4 月 1 日～R3 年 3 月 31 日	企業等委員
有限会社富岡労務管理事務所	H30 年 4 月 1 日～R3 年 3 月 31 日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにより公表 (現在は H30 年度の情報、R 元年度の情報は 9～10 月頃にアップする予定) URL : https://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部の「学校情報」)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

「学校パンフレット及び募集要項」本校ホームページ (<http://www.asvcoll-ac.jp/>)
の TOP ページ右上の“資料請求” からか電話での資料請求により入手可能